



大原 功 議員

## 市長の海外視察は自分のお金で 行くべきだったのではないか

**問** ポートセールス【1】について聞く。  
港湾施設を見に行くということだったので、議会は予算化に賛成した。

市長はファーストクラスで行ったのではないかと、港灣が目的なのに、なぜ観光が多いのか。  
市民税を1円も無駄に使わないと(市長が)言うのなら、なぜ自分のお金で行かなかったのか。公務、自分の目的と、分けるべきではなかったか。

名古屋商工会議所、名古屋港管理組合等4団体が主催。名古屋港への誘致・利用促進や経済交流活動のための使節団を、昭和59年から派遣している。  
20年は10月11日〜24日の期間に、港湾企業関係者等から37人が参加。市長も市臨海部のふ頭PRのため、フランス、モロッコなど、地中海・北アフリカ諸国を訪問した。

## 参加のあり方は 今後に生かしたい

**答** 市長

市は、名古屋港を構成する自治体として、過去から参加しており、昭和59年の第1回から参加し、私が8回目の参加である。

公務として参加し、(飛行機は)ビジネスクラスで行った。宿泊費等を負担金で払い、議会に予算承認を得て、決算、監査も済んでいる。

成果は、フランス船会社が22年から名古屋港を利用し、名古屋港の9年連続貨物量日本一に、大きく貢献している。

現在、鍋田ふ頭第3バース整備、背後道路計画も順調に推移し、(市内臨海部

に)日本通運、名港海運、伊勢湾海運が企業進出しており、過去の関係者の努力もあり、ポートセールスと密接に関係するところである。  
視察は、私が日程、訪問地を裁量するところではなく、すべてが団体行動という形で、行動をとりにした。

今回を機に、参加のあり方等は今後に生かさなければならぬ。(議員からの)示唆を、ありがたく思っている。旅費調査特別委員会【関連記事3面】で方針をもらいたいと思っている。

これから将来、市が港に懸ける期待は非常に大きい。継続して参加できることを強く望んでいる。

## 視察に鉄道利用したのはなぜか

**問**

女性の会の視察で、(市長は)1人で電車賃を使っていた。

なぜ(会員と)一緒にバス

に乗らずに行ったのか。  
これで市民税を1円も無駄に使わないということが言えるのか。

## 公務変更時の鉄道利用に理解を

**答** 市長

女性の会等の各種団体からの依頼により、日程調整しながら参加しており、数カ月前に決定される。

当日近辺になると、私の公務の変更で、最初から最後まで参加できない場合があり、鉄道利用や少し早く帰る状況がどうしても出てくる。これも理解してほしい。

しかし、議員の言う税の無駄遣いに対しては、今後は公務の日程等がないよう、ほかの人の代行も検討し、諸経費のことは検討しながら、各種団体と懇親を深めていきたい。

大変地域で活躍をしてもらっている団体なので、理解してほしい。